

編修趣意書

教育基本法との対照表

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-54	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	英語 507	Here We Go! 5		

1. 編修の基本方針

「英語で育む，心・言葉・学び」

この教科書では，教育基本法，学校教育法の理念および学習指導要領の目標を実現するために，「言葉・文化・価値観の異なる多様な人々と気持ちや考えを伝え合い，主体的に課題に向き合い，協力して平和な世界を築こうとする開かれた心をもつ人を育てる」ことを目指し，3つの基本方針に基づいて編修しました。

1

豊かな心を育む。

—— 世界の広さを知り，多様な価値観を受け入れる心を育みます。

これからの世界を生きる子供たちが，言語や文化の異なる人々と力を合わせ，よりよい世界を築いていくためには，多様な価値観を受け入れる「心」を育てることが大切だと考えました。そのために，さまざまな文化的・人種的背景を持ったキャラクターによるストーリーの設定や，実際に世界で暮らす小学生の考えに触れることができるように工夫をしました。



2

言葉を使う力を育む。

—— 豊かに伝え合い，楽しみながら，言葉を使う力をつけます。

英語の表現を覚えて使うことにとどまらず，相手と関わり合う楽しさや，言葉を通して思考・判断・表現し，つながり合う喜び，新しい言葉に出会う楽しさを実感できる教科書を目指しました。そのために，相手に反応する態度や相づちなどの表現を大切に，考えたり楽しんだりしながら言葉を使う力をつけることができる教材の工夫をしました。



3

学びたい意欲を育む。

—— 学びたい気持ちを引き出し，次の学びにつなげます。

児童が学習に意欲的になり，英語のできることを少しずつ増やしていけるような教科書を目指しました。そのために，「できるようになること」と学習の流れを明確に示し，学習の見通しをもつことができるように工夫しました。



1

豊かな心を育む。

——世界の広さを知り、多様な価値観を受け入れる心を育みます。

①性格や出身国の異なるキャラクターが成長するストーリーを設定。

各Unitの導入には、キャラクターたちが互いの考えを受け入れながら成長するストーリーを設定しました。英語のストーリーを通して、違いを認めて尊重し合うことの大切さを実感することができます。



②全12か国で暮らす、実際の世界の小学生たちの生の声を紹介。

世界12か国で実際に生活する小学生のメッセージを音声と映像で紹介し、多様な文化や価値観に触れられるようにしました。

英語を使うことを楽しみ、堂々と自分の考えを話す同年代の小学生の姿は、よい刺激となって児童の学習意欲を高めます。



③グループで力を合わせて考える、協働学習を用意。

UnitにあるLet's try. や You can do it! の活動では、グループ内でやり取りをしたり、グループで力を合わせて発表をしたりする活動を設けました。一人では難しいことでも、助け合うことで英語で表現することへの自信が培われるようにしました。

また、異文化理解を促す World Tour では、話し合う活動を全Unitに設け、多様な意見を大切にできる経験ができるようにしました。



p.79「ポスターを使って
行きたい国を紹介しよう」



Think
グループで考える
活動のアイコン

2

言葉を使う力を育む。

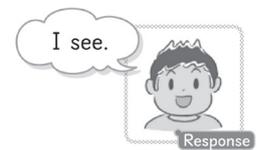
——豊かに伝え合い、楽しみながら、言葉を使う力をつけます。

①伝え合う時の態度や相づちの表現など、相手意識をもつための活動を設定。

コミュニケーションを円滑にする、アイコンタクト (Eye Contact)、笑顔 (Smile)、伝わりやすい声 (Clear Voice)、相手への反応 (Response) を「4つのたいせつ」として巻頭に示し、常に確認できるようにしました。全Unitの「Response」コーナーでは、相づちや聞き返す表現などをくり返し示し、相手意識が育つようにしました。



p.10「4つのたいせつ」



「Response」コーナー

②言葉を通して思考力・判断力・表現力を培う、児童の視点に合った活動を設定。

育てたい資質・能力である思考力・判断力・表現力が、言葉を通して伝え合う中で培われるようにしました。Unitの活動では、予想してから質問したり、伝える順番を考えて整理したりする活動を多数用意しています。伝えたい気持ちを持ち、粘り強く考えて表すことで、伝わったときの喜びが一層感じられるようにしました。活動の話題は、学校や日常生活など親しみやすく、安心して活動できるものにしました。

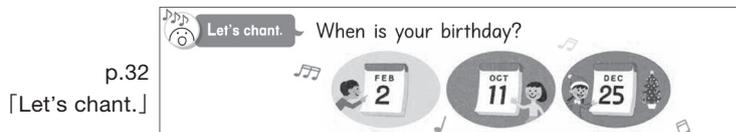


p.111
「あこがれの人
を当てるクイズ」

③楽しみながら言葉を使う力がつくオリジナルチャンツや、英語の歌や絵本教材を豊富に用意。

全Unitにオリジナルチャンツを用意し、学習する基本表現を楽しく練習できるようにしました。長く子供たちに英語を教える指導者とネイティブスピーカー、作曲家が監修・作成しています。英語のリズムやイントネーションに忠実なチャンツで、英語の力を養います。

また、英語の響きを味わいながら文化的な背景にも興味をもてる歌や絵本教材を用意しました。



p.32
「Let's chant.」

p.105
「英語の物語
The Gingerbread Man」



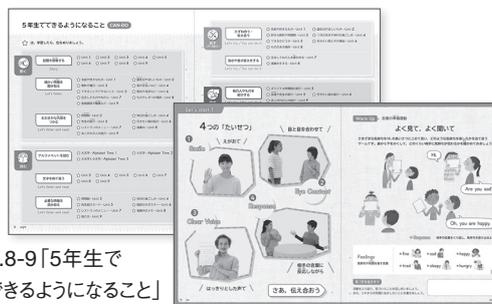
3 学びたい意欲を育む。

—— 学びたい気持ちを引き出し、次の学びにつなげます。

①巻頭に「学習を見渡すページ」や、できるという自信につながる「スタート教材」を用意。

巻頭には各UnitのGoalを一覧できる「もくじ」、学習の仕方を視覚的に示す「教科書の使い方」の他、「5年生でできるようになること(CAN-DO)」を設けました。4技能5領域に対応した「できるようになること」を示すことで、見通しをもって学習に取り組めます。

また、巻頭の Let's start では、3・4年生の内容をふり返るなど取り組みやすい活動から始めることで児童の英語に対する不安を軽減し、「できる」という自信を持たせて学習に入れるようにしました。



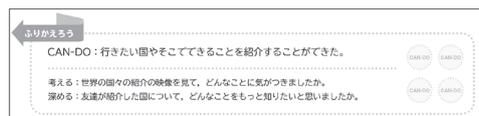
p.8-9「5年生で
できるようになること」

p.10-11 Let's start 1

② Unit に「学習のめあて」「学習の流れ」「ふりかえり」を明示。

Unitは、Hop! → Step → Jump! の順に整理して構成し、全体を見通せるようにしました。

各Unitの導入のHop! には、「学習のめあて」をGoalとして示し、UnitのまとめのJump! には「ふりかえろう」を設け、3つの観点から学習をふり返ります。各Unitで「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どう学ぶか」を明確に意識して学習することができます。

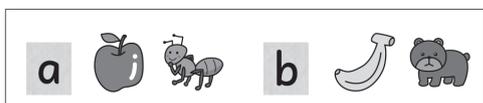


Goalと「ふりかえろう」の表示

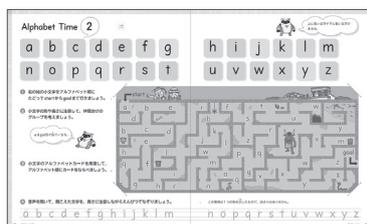
③読み書きの学習のために、音と文字の学習をスモールステップで提示。

読み書きの学習は、児童の学ぶ意欲を大切にしつつ、つまづかないように段階を追って丁寧に慣れ親しめるようにしました。例えば、大文字と小文字の形の特徴や書き方は、Alphabet Time 1~3 や付録のペンマンシップ・シートを使い、楽しみながら徐々に慣れていきます。

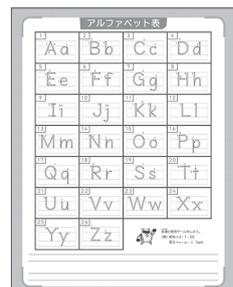
また、Unit 4 以降には、Sounds and Letters のコーナーを設け、楽しみながらアルファベットの音と文字の関係に少しずつ気づけるようにしています。



p.55 Sounds and Letters



p.38-39 Alphabet Time 2



ペンマンシップ・シート

2. 対照表

[第 5 学 年]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵	教科書内に登場する世界の小学生の挨拶に触れ、互いに尊重する態度と国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第五号】	見返し-1
さあ、行こう。	英語の学習における見方や考え方を平易な言葉で記すことで、互いに尊重する態度と国際平和と発展に寄与する態度を養います。【第五号】	2
もじ・教科書の使い方	「教科書の使い方」で学習の流れを記し、主体的に学習に向かう態度を養います。【第二号】	4-5, 6-7
5年生でできるようになること (CAN-DO)	学年を通してできるようになることを一覧で示し、個人の能力を伸ばし、自律的な態度で学習を進められるようにしています。【第二号】	8-9
Let's start 1 ~ 5	コミュニケーションで大切にしたい4つのキーワードを冒頭に示し、豊かな情操と道徳心を養います。【第一号】	10-11
Unit 1 Hello, everyone.	コミュニケーションの基本、「挨拶」「自己紹介」から学習を始め、自他を敬愛する態度や公共の精神を養います。【第三号】	20-27
Unit 2 When is your birthday?	お互いの誕生日とほしいプレゼントをたずね合う活動を通して、自他を敬愛する態度を養います。【第三号】	30-37
Unit 3 What do you have on Monday?	世界の小学生の時間割を調べる活動や、グループでオリジナルの時間割を考える活動を通して、他国を尊重する態度や、自律の精神を養います。【第一号】【第五号】	40-47
Unit 4 What time do you get up?	家の手伝いや規則正しい生活を考える活動を通して、豊かな情操や自律の精神を養います。【第一号】【第二号】	52-59
Unit 5 He can run fast. She can do <i>kendama</i> .	できることやできないことを紹介する活動を通して、個人の価値を尊重する態度や、自他を敬愛する態度を養います。【第二号】【第三号】	62-69
Unit 6 I want to go to Italy.	行きたい国を紹介する活動を通して、他国を尊重し、国際社会の平和に寄与する態度を養います。【第五号】	72-79
Unit 7 What would you like?	商品を丁寧な言い方で注文する活動を通して、他者を敬う態度を養います。【第三号】	82-89
Unit 8 Where is the gym?	困っている人を道案内して助ける活動や、世界のユニバーサルデザインを題材にした活動を通して、豊かな情操や道徳心を培い、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。【第一号】【第三号】	96-103
Unit 9 My hero is my brother.	家族や先生、友達など、自分が尊敬する身近な人を紹介する活動を通して、男女の平等や自他の敬愛を重んずる態度を養います。【第二号】	106-113
Alphabet Time 1 ~ 3	大文字が小文字に変化する過程をグループで考える活動を通して、幅広い知識と教養、真理を求める態度を養います。【第一号】	28-29, 38-39, 48-49
Fun Time 1 ~ 6	英語圏の伝統的な歌や物語に触れることで、幅広い知識と教養を身に付け、他国の伝統と文化を尊重する態度を養います。【第五号】	60-61, 70-71等
Review 世界の友達 1 ~ 3	世界各国で実際に生活する小学生の考えや暮らし方に触れることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第五号】	50-51, 94-95, 116-117
言葉について考えよう	言葉を使う際に大切にしたい丁寧な言い方や態度を考える活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。【第二号】	92-93
絵辞典	自分が表現したいことを絵辞典の語彙の中から自主的に探して表すことを通して、豊かな情操や自律の精神を養います。【第一号】【第二号】	118-131
Let's play <i>sugoroku</i> .	学年を通してできるようになったことを確認するすごろくを通して、友達を応援したり助けたりする態度を養います。【第三号】	136-138
学びのパスポート	学年を通してできるようになったことをページに書き込む活動を通して、個人の価値を尊重し互いに認め合う態度を養います。【第二号】	139

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

今日的な課題について

[文部科学省教材との関連と言語材料の配列・選定について]

- 文部科学省の中学年教材 Let's Try! で学習した表現や語彙を、教科書の中でもくり返し使えるようにしました。単元構成は、文部科学省の高学年教材 We Can! の内容を踏まえ、指導者と児童が安心して使えるようにしました。
- 文部科学省教材 Let's Try!, We Can! との対応はもちろん、中学校検定教科書や英検、CEFR-Jや国際的な基準等を基に語彙を分析し、教科書で触れる語彙を721語に設定しました。既習の表現や語彙にくり返し出会い、スパイラル式に学習して、定着を図れるようにしました。

[小・中・高の接続について]

- 小学校中学年からの接続を円滑にするために、5年生の冒頭に置いた**Let's start**には、3~4年生で学習した英語の基本表現を復習できるページを設け、大きな負担を感じずに短時間で効率よく学習ができるようにしました。
- 主体的かつ継続的に学ぶ姿勢をもった自律的学習者の育成に資するために、5年生の最後に「**学びのパスポート**」を用意し、自身の成長をふり返るとともに次の学年や中学校の活動に生かせるようにしました。

[主体的・対話的で深い学びの実現に向けて]

- 各Unitには、世界12か国に住む小学生たちが実際に話しかける**World Tour**のコーナーを設けました。音声や映像で世界中からの生の声に触れ、児童同士や先生と児童が対話しながら、考え、議論できるようにしています。
- 各Unitの最後には、「**ふりかえろう**」のコーナーを用意し、Unitの学習をCAN-DOの観点に加え、主体的・対話的で深い学びの観点からもふり返ることができるようにしました。
- 各学年に1か所ずつ掲載した「**言葉について考えよう**」のページでは、国語科における学習も想起し、考えながら言葉を使う態度を育み、豊かなコミュニケーションに必要なことへの気づきを促すことができるようにしました。

[カリキュラム・マネジメントの推進に向けて]

- 道徳や国語をはじめ、他教科との関連を積極的に示し、教科横断的な視点で学習の計画が図れるようにしました。
- 週2単位時間でも短時間学習の組合せでも、学校の実態に合わせて学習の計画を立てやすい教材構成にしました。
- 国語科や書写でのアルファベットやローマ字の学習と関連できるよう、ローマ字表やフォントを統一しました。

[ICTの活用・英語の音声等の提供について]

- 映像資料を視聴して考える活動を全Unitに設定しました。また、音声や映像、リンク集など、学習を広げるウェブコンテンツを豊富に用意し、紙面に付した二次元コードを通して無償で利用できるようにしました。

全ての児童にとって使いやすく、分かりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、全ページにわたって専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

学習上の配慮

- 文字については、児童が学習しやすい4線の幅に対応した、新しいアルファベットのフォントを独自に開発して使用しました。
- 日本語の表記は、視認しやすく学習しやすいユニバーサルデザインの書体を使用、文字の大きさは、発達段階、教材の内容に十分に配慮しました。
- 当該学年の配当漢字には、全て振り仮名を付しました。
- 判型については、横組の文字が読みやすく、紙面を視覚的に見せることができる横幅の広いAB判を採用しました。
- 本文用紙は、軽くて裏写りにくく、えんぴつで書き込みやすい質感の紙を用いました。環境に配慮した用紙です。
- レイアウトについては、迷わず学習ができるように、同様の情報を所定の位置に整理して配置しました。
- 大判のイラストや、小さくしても分かりやすい写真を用いて、めりはりのある紙面構成にしました。

人権上の配慮

教材や挿絵に登場する人物に性別による偏りがないよう、また、人種・身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表, 配当授業時数

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-54	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	英語 507	Here We Go! 5		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1

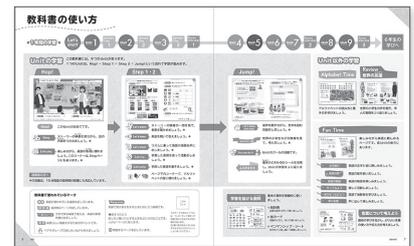
学びのスタートは楽しく、わかりやすく。

— 学年のはじめに全体を見渡し、安心して楽しく英語に取り組める教科書を目指しました。

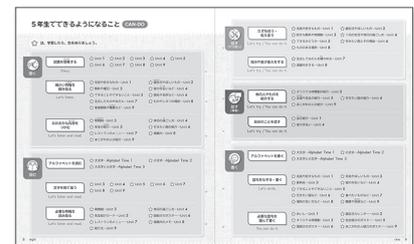
やるべきことがはじめに一目でわかり、無理なく学習が進むようにしました。

[巻頭の構成]

全UnitのGoalを示す「もくじ」、学習の仕方を示す「教科書の使い方」、その学年で「できるようになること (CAN-DO)」を巻頭に掲載。はじめに全体の構成と学び方、到達目標を示し、意欲と見通しをもって学習を進められるようにしました。



p.6-7「教科書の使い方」



p.8-9「5年生でできるようになること (CAN-DO)」



p.4-5「もくじ」では、UnitごとにGoalを明示。

[わかりやすいアイコン・マークの例]

アイコンやマークは、目的により形と色を変えて、一目でわかるようにしました。



4技能・5領域を表すマーク

(左から「聞く」、「話す(やり取り)」、「話す(発表)」、「読む」、「書く」)

場面 英語が使われている場面

絵辞典 絵辞典のページ

一言フレーズ よく使われる英語表現

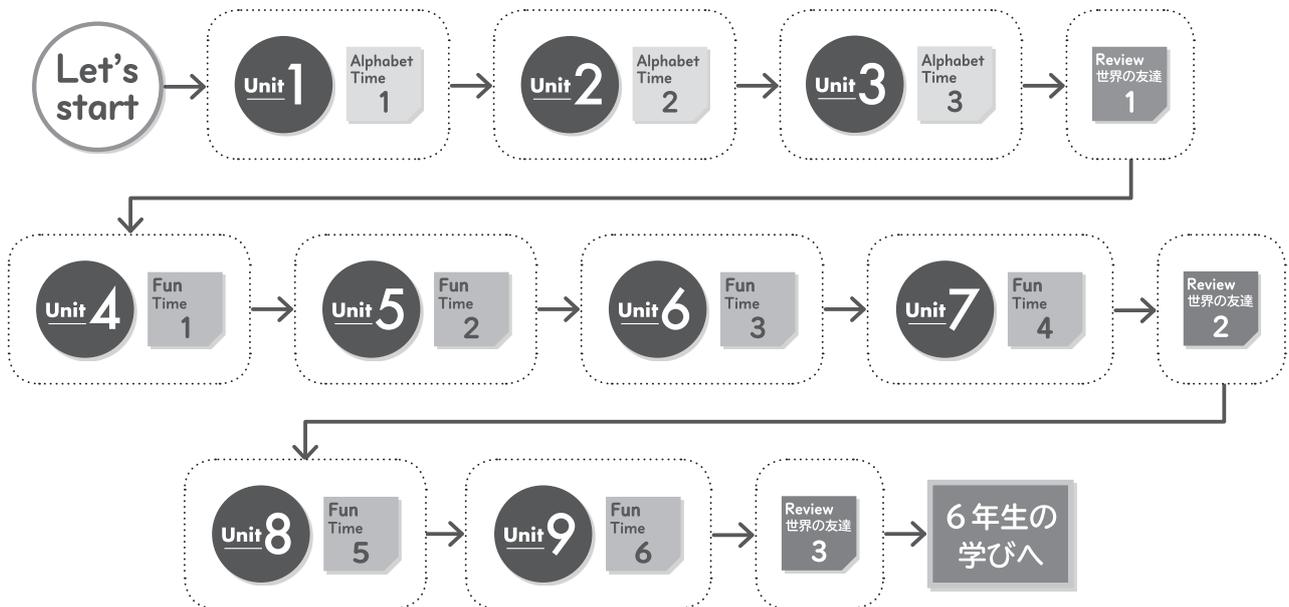
発音 発音のポイント

Think グループで考える活動

Response 相づちやほめる表現

[スパイラルな全体構成]

Unitと、それらを支える教材を関連させながら、スパイラル式に学習を進めます。学習の中心となる単元は、9つのUnitで構成。各Unitは色でわかりやすく識別できるようにしました。各Unitの終わりには、Alphabet Time, Fun Time, Review 世界の友達といった教材を設け、Unitの学習と関連させたり、広げたりできるようにしました。



[わかりやすさ、学びやすさへの工夫]

無理なく着実に定着を図ることができるように、学習する表現や語彙の配列や選定を工夫しました。

語彙選定の工夫

文部科学省の教材Let's Try! やWe Can! との対応はもちろん、中学校検定教科書や英検、CEFR-Jや国際的な基準等の語彙を分析し、教科書で触れる語彙を721語に設定しました。発信語彙と受容語彙の考え方を意識し、特に重要な語彙や表現については、リスニングスクリプトも含めて2年間で何度も繰り返し触れられるようにすることで、段階的に着実に定着を図れるようにしています。

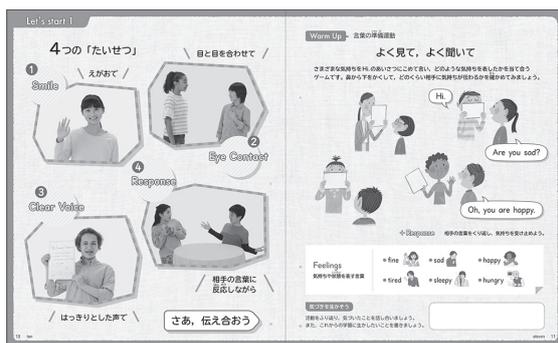
言語材料の配列の工夫

中学年やそれまでの学習で慣れ親しんだ表現に、くり返し出会うようにしました。例えば、中学年で慣れ親しんだ好きなことをたずねる表現は、Unit 1で What sport do you like? と、好きなスポーツをたずねる際に触れ、さらにUnit 3で What subjects do you like? と、好きな教科書をたずねる際に触れます。このように、使用場面を変えて何度も表現に出会うことで、定着を図れるように配慮しています。

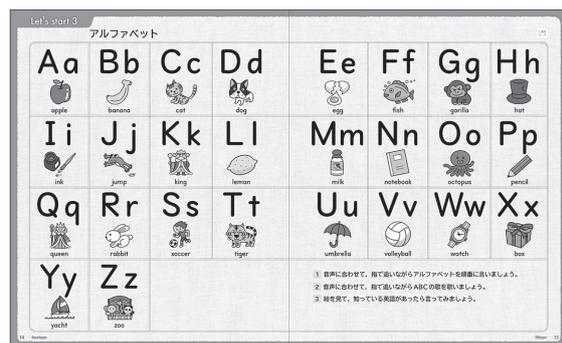
[英語の授業開き Let's start]

外国語活動から教科としての英語へのスムーズな接続を実現するために、コミュニケーションの上で大切にしたい態度を確認したり、外国語活動で触れてきた表現やアルファベットを確認したりするLet's start を設けました。

中学年で慣れ親しんだ内容を扱うことで児童の負担を軽減し、短時間で取り組みやすい活動を通して小さな達成感を重ねながら、英語の授業をスタートさせることができます。



p.10-11 Let's start 1 4つの「たいせつ」、言葉の準備運動



p.14-15 Let's start 3 アルファベット

2

Unit の学びは着実に、ていねいに。

—— 着実に力がつけられるよう、学習の手順をスモールステップで目に見えるように示しました。

学習の手順がわかる Unit の構成で、授業がスムーズに進むようにしました。

[各 Unit の構成]

Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! の段階でUnitを構成し、それぞれを1つの見開きで統一しました。

聞く活動から始まり、話す活動を経て、徐々に読む・書く活動へと、無理のないスモールステップで進みます。

短時間学習 (モジュール) への対応

◆の活動は、10分程度の短時間の指導にも対応できるように構成し、多様な時間割編成に配慮しました。

Hop!

導入



【 Goal 】Unit のめあてを示し、このUnitでできるようになることを示しました。その下には学習することを端的に記しました。

【 Story 】見開きページを大きく使ったパノラマのイラストを手掛かりにして、ストーリーの音声と映像に触れ、話の内容をつかみます。◆

【 Let's play. 】パノラマのイラストや巻末付録のカードなどを使い、学習する英語の表現や語彙に楽しみながら慣れる活動です。◆

Step

1・2
展開



【 Let's watch. 】Hop! で見たストーリーの映像の一部を見て、学習する英語の表現を確認めます。◆

【 Let's listen. 】英語を聞いて答える活動です。◆

【 Let's chant. 】リズムに乗って英語の表現を声に出し、ターゲットとなる基本表現や語彙に慣れる活動です。◆

【 Let's play. 】楽しみながら英語の表現や語彙に慣れる活動です。◆

【 Let's try. 】学習した英語の表現や語彙を使い、思考・判断・表現する活動です。◆

【 Let's write. 】学習した英語を書く活動です。◆

Jump!

まとめ



【 Let's listen and read. 】音声を聞きながら、文字を読む活動です。ここまで十分に慣れ親しんできた表現を扱います。◆

【 World Tour 】世界の映像を見て、グループで考える活動です。ゴール活動の内容を考えるヒントにもなります。◆

【 You can do it ! 】Unitのゴール活動です。Step 1・2で学んだ表現や語彙を用いて、思考・判断・表現する活動です。

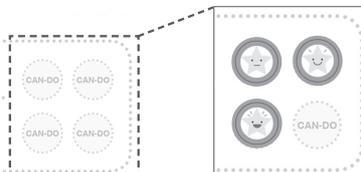
【 ふりかえろう 】巻末のCAN-DOシールを活用し、Unitの学習をふり返ります。

[ふりかえろう]

育てたい資質・能力の3つの柱に対応し、「CAN-DO→知識及び技能、考える→思考・判断・表現力等、深める→学びに向かう力、人間性」の観点で整理しました。また、巻末のCAN-DOシールを貼り、自己評価ができます。

ふりかえろう

CAN-DO：行きたい国やそこでできることを紹介することができた。
 考える：世界の国々の紹介の映像を見て、どんなことに気がきましたか。
 深める：友達で紹介した国について、どんなことをもっと知りたいと思いましたか。



CAN-DOシール

3

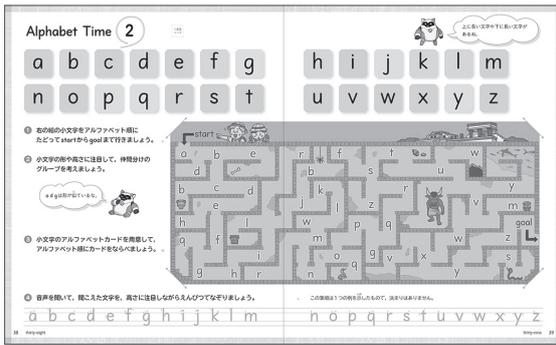
学びを広げ、もっと豊かに。

—— いろいろな「もっと」に応えられるコンテンツを、豊富に用意しました。

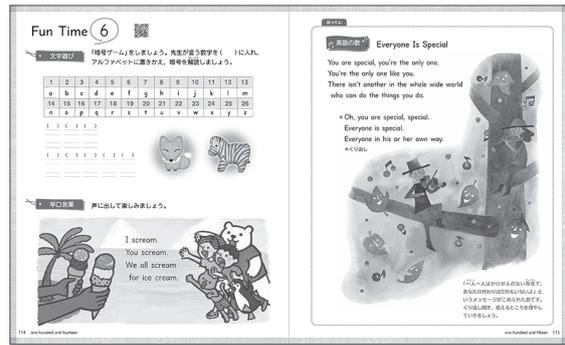
Unit と関連する教材や付録、さらに二次元コードで、さまざまな学習ニーズに対応しました。

[Unit と関連した教材]

Unitの終わりにあるAlphabet Timeや、Fun Time をUnitの学習に関連させ、豊かな学びにつながるようにしました。



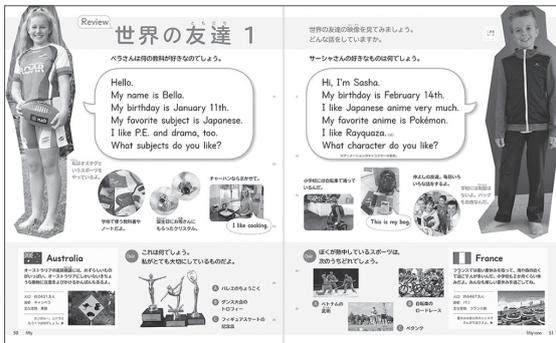
Alphabet Time は、Unit 1～3 までの間に3か所設定。アルファベットの太文字・小文字の形の特徴をしっかり認識し、読み書きにつまずかないよう、段階的に学べるようにしました。



Fun Time では、文字遊びや歌、物語、他教科と連携した学習などを紹介。授業のウォーミング・アップで歌を扱ったり、授業の中で文字遊びを取り入れたりして、学びを広げられます。

[学習を支える教材・資料]

学習を支える教材でUnitの学習をふり返ったり、さらに広げたりすることができるようにしました。



「Review 世界の友達」では、世界の実在の小学生12人が登場。それまでに学んだ表現をふり返ることができるようにしました。



「言葉について考えよう」では、国語科での学びを生かし、よりよい言葉の使い方・伝え方を考えられるようにしました。

- 絵辞典

児童が言いたい語や、これまで触れてきた語を探して使えるように、巻末に「絵辞典」を付けました。

- ペンマンシップ・シート

水性ペンを用いて、文字を何度も書いて練習できる「ペンマンシップ・シート」を付けました。

- Let's play sugoroku.

すごろく遊びで「英語でできるようになったこと」を確認できるLet's play sugoroku.を用意しました。

- 学びのパスポート

英語でできるようになったことを書き込むことができる「学びのパスポート」を設け、学年末に児童が自身の成長をふり返り、次の学年や中学校の活動に生かすことができるようにしました。

- 二次元コード

音声や映像、リンク集など、学習を広げるウェブコンテンツを豊富に用意し、紙面に付した二次元コードを通して無償で利用できるようにしました。



2. 対照表

[第 5 学 年]

言語活動：ア=聞くこと、イ=読むこと、ウ=話すこと [やり取り]、エ=話すこと [発表]、オ=書くこと

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			箇所 (頁)	配当 時間
		主な言語材料	言語活動			
Let's start	1 4つの「たいせつ」 言葉の準備運動	中学年で既習の語彙・表現	ウ(ア)(イ)	場面 学校、家庭 働き 挨拶	10-11	2
	2 さまざまな場面の英語	中学年で既習の語彙・表現	ア(ア)(イ)	場面 学校、家庭、挨拶、自己紹介、買物、道案内 働き 挨拶、質問、依頼、提案	12-13	
	3 アルファベット	活字体の大文字・小文字	イ(ア)		14-15	
	4 教室で使う英語	挨拶や質問など	ア(ア)(ウ)	場面 学校、挨拶 働き 挨拶、質問、聞き返す、褒める	16-17	
	5 数字	0から60までの数	ア(イ)		18	
[Unit 1] Hello, everyone.	<ul style="list-style-type: none"> My name is How do you spell it? What sport do you like? I like 語彙 スポーツ、飲食物等	ア(ア)(イ), ウ(ア)(ウ), オ(イ)	場面 学校、挨拶、自己紹介 働き 挨拶、呼び掛け、質問、説明、礼を言う、 相づち	20-27	6	
Alphabet Time 1	活字体の大文字	ア(ウ), イ(ア), オ(ア)		28-29		
[Unit 2] When is your birthday?	<ul style="list-style-type: none"> When is your birthday? My birthday is What do you want for your birthday? I want 語彙 月、序数、身の回りの物等	ア(ア)(ウ), ウ(イ)(ウ), オ(イ)(ウ)	場面 家庭、地域、買物 働き 質問、説明、相づち、発表	30-37	6	
Alphabet Time 2	活字体の小文字	ア(ウ), イ(ア)(イ), オ(ア)		38-39		
[Unit 3] What do you have on Monday?	<ul style="list-style-type: none"> What subjects do you like? I like What do you have on ~? I have 語彙 教科名等	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ウ), ウ(ウ), エ(ア), オ(イ)(ウ)(エ)	場面 家庭、学校 働き 質問、説明、相づち、発表、褒める	40-47	8	
Alphabet Time 3	活字体の大文字と小文字	ア(ウ), イ(ア)(イ), オ(ア)		48-49		
[Unit 4] What time do you get up?	<ul style="list-style-type: none"> Do you take out the garbage? Yes, I do. / No, I don't. I usually What time do you ...? I usually ... at 語彙 頻度を表す表現、手伝い等	ア(ア)(イ)(ウ), イ(エ), ウ(イ)(ウ), エ(ア), オ(ウ)(エ)	場面 家庭 働き 質問、説明、相づち、発表、褒める	52-59	8	
Fun Time 1	文字遊び 英語の歌 やってみよう	ア, イ, ウ		60-61		
[Unit 5] He can run fast. She can do <i>kendama</i> .	<ul style="list-style-type: none"> Can you...? Yes, I can. / No, I can't. He [She] can / can't 語彙 動作、身の回りの物等	ア(ア)(ウ), イ(エ), ウ(ウ), エ(ウ), オ(イ)(エ)	場面 学校、家庭 働き 質問、説明、相づち、発表、褒める	62-69	6	
Fun Time 2	文字遊び 英語の歌 やってみよう	ア, イ, ウ, オ		70-71		
[Unit 6] I want to go to Italy.	<ul style="list-style-type: none"> In ..., you can Where do you want to go? I want to go to Why? I want to 語彙 国名、状態・気持ちを表す表現等	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ウ)(エ), ウ(イ)(ウ), エ(ア)(イ), オ(ア)(イ)(ウ)(エ)	場面 学校、家庭 働き 挨拶、質問	72-79	8	
Fun Time 3	文字遊び 英語の歌 学びをつなげよう	ア, イ, ウ, オ		80-81		
[Unit 7] What would you like?	<ul style="list-style-type: none"> What would you like? I'd like How much is it? It's ... yen. 語彙 飲食物、果物・野菜、数等	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ウ)(エ), ウ(ア), オ(イ)(ウ)	場面 学校、家庭、地域 働き 挨拶、質問	82-89	6	
Fun Time 4	文字遊び 英語の歌 やってみよう	ア, イ, エ, オ		90-91		
[Unit 8] Where is the gym?	<ul style="list-style-type: none"> Where is ...? It's [on / in / under / by]. Where is ...? Go straight. Turn right [left]. 語彙 施設・建物、場所を表す表現等	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ウ)(エ), ウ(ア), エ(ア), オ(イ)(ウ)	場面 学校、家庭、地域/道案内 働き 挨拶、質問	96-103	8	
Fun Time 5	文字遊び 英語の歌 英語の物語	ア, イ, オ		104-105		
[Unit 9] My hero is my brother.	<ul style="list-style-type: none"> My hero is He[She] is She[He] is 語彙 家族、職業、形容詞等	ア(ア)(イ)(ウ), イ(エ), エ(イ)(ウ), オ(イ)(ウ)(エ)	場面 学校、家庭 働き 挨拶、質問	106-113	8	
Fun Time 6	文字遊び 早口言葉 英語の歌	ア, イ, オ		114-115		
Review	世界の友達 1 オーストラリア、フランス	既習の言語材料 (Unit 1 ~ 3)	ア(ウ), イ(ウ)(エ)	-	50-51	1
	世界の友達 2 フィリピン、バグアイ	既習の言語材料 (Unit 4 ~ 7)	ア(ウ), イ(ウ)(エ)	-	94-95	1
	世界の友達 3 中国、イギリス	既習の言語材料 (Unit 8 ~ 9)	ア(ウ), イ(ウ)(エ)	-	116-117	1
言葉について考えよう 伝わる表現を選ぼう	丁寧な言い方など	ア, ウ	場面 学校、家庭 働き コミュニケーションを円滑にする	92-93	-	
合計時数					69	

編修趣意書

発展的な学習内容の記述

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-54	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	英語 507	Here We Go! 5		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
5年 60ページ	Fun Time 1 英語の歌 This Is the Way 全体	2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別し、また、発展的な学習内容であることがわかるようにしました。	0.5ページ
5年 70ページ	Fun Time 2 英語の歌 I Love the Mountains 全体	2		0.5ページ
5年 80ページ	Fun Time 3 英語の歌 It's a Small World 全体	2		0.5ページ
5年 90ページ	Fun Time 4 英語の歌 Pease Porridge Hot 全体	2		0.5ページ
5年 104ページ	Fun Time 5 英語の歌 On Top of Spaghetti 全体	2		0.5ページ
5年 105ページ	Fun Time 5 英語の物語 The Gingerbread Man Run, run, run, as fast as you can. の部分	2	比較表現 (as fast as ~) が、学習指導要領に示す内容に照らして、発展的な学習内容であることがわかるようにしました。	0.25ページ
5年 115ページ	Fun Time 6 英語の歌 Everyone Is Special 全体	2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別し、また、発展的な学習内容であることがわかるようにしました。	1ページ
			合計	3.75ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容